

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>

しまね

いまいまねつと

2014
月号

地域づくり応援助成金 公開審査会 開催！

NPOや地域づくり団体のユニークな発想や企画力を活かし、地域課題解決や地域活性化に向けて実施する活動を応援するための「地域づくり応援助成金」の公開審査会を行います。

地域づくり活動に興味がある方をはじめ、どなたでもご来場いただくことができます。ぜひ、この機会に、地域で活動する団体の皆さんの生の声を聞いてみませんか？

**日時**

平成26年2月17日(月)

【公益重視型事業 公開審査会】 10:40~11:10

【経済振興型事業 公開審査会】 13:50~15:40

会場

大田市民会館中ホール(大田市大田町大田イ128)

申請案件**公益重視型事業 公開審査会**

公益重視型事業：会費や寄付金等を主たる財源として事業を実施するもの。
コミュニティ、安全安心などを向上させるための活動。

申請団体名/事業名

NPO法人日本に健全な森をつくり直す委員会(津和野町) /
「森仕事(もりしごと)」が充分にあることを、小・中・高校生やI・Uターン者に知らせるための
教育プロジェクト

経済振興型事業 公開審査会

経済振興型事業：事業から生ずる利益を主たる財源として事業を実施するもの。

申請団体名/事業名

大代高山会(大田市) / 大代町再生プロジェクト体験交流施設「大江高山きずな館」整備事業
STUDIOダイズ(益田市) / 地域と耕す食と暮らし
NPO法人美又ゆめエイト(浜田市) / 輝く女性が美又を変えるプロジェクト
眞知子農園(安来市) / 養護学校生自立支援・教育支援事業
跡市地区まちづくり協議会(江津市) / 交流とにぎわいの場の創出事業

お問い合わせ

申込不要・入場無料です。

(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課 (担当:石川・鳥谷・岡田) TEL 0852-28-0690



助成金情報

独立行政法人環境再生保全機構
平成26年度地球環境基金助成金
期～2/12(水)

民間の非営利団体が行う環境保全活動に対する助成です。助成メニューは、地域活動の種を育て、地域に根付いた活動を中心に環境保全のボトムアップの充実を目指す「入門助成」と、課題解決能力等に磨きをかけ、より効果的な活動の展開を実現し団体組織のステップアップを目指すための「一般助成」ほか全6つあります。詳細は募集要領でご確認ください。

対 環境保全活動を行う民間の非営利団体

金 入門助成:50万円～300万円 一般助成:200万円～600万円(但し開発途上地域での活動のみ200万円～800万円)

問 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部 地球環境基金課
Tel:044-520-9505 <http://www.erca.go.jp/>

一般社団法人
全日本冠婚葬祭互助協会
第15回社会貢献基金助成
期～2/28(金)

地域の災害の救済、社会福祉事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成です。

対 NPO法人、ボランティアグループ等の非営利組織又は大学、研究機関

金 1件あたり上限200万円 但し研究助成事業は1件あたり上限100万円

問 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局
Tel:03-3596-0061
<http://www.zengokyo.or.jp/social/promotion/01.html>

COOP共済
2014年度 地域ささえあい助成
期2/10(月)～3/15(土)

「暮らしを守りくらしの困りごとの解決に資する活動」、「命を守りその人らしい生き方ができるための活動」、「女性と子どもが生き生きする活動」のうち、生活協同組合とNPO等が協同して力を発揮することのできる取組に対する助成です。

対 生活協同組合、またはその他のNPO法人等

金 1事業あたり上限100万円

問 日本コープ共済生活協同組合連合会 渉外・広報部 地域ささえあい助成事務局 Tel:047-351-3356
<http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/2014.html>



イベント情報

じょうぶな子どもをつくる基本食
日2/11(火・祝)14:00～16:00

「粗食のすすめ」で有名な管理栄養士の幕内秀夫先生の講演会です。

場 島根県民会館 大会議室 **金** 前売券800円 当日券1,000円 託児(1歳以上、先着30名、要予約)一人200円

主 「学校給食と子どもの健康を考える会」松江市

問 Aya 母乳育児相談室 Tel:0852-23-1808

平成25年度 里山自然塾 第11回
「里山の循環的利用を考える！」
シイタケ、ナメコ植菌
日3/2(日)10:00～15:00

人と雑木林のつながりを考え、その利用法のひとつであるキノコの原木栽培について学びます。

場 島根県立ふるさと森林公園 **金** 500円 **主** NPO法人もりふれ倶楽部

問 島根県立ふるさと森林公園学習展示館 Tel:0852-66-3586
<http://www.morifure.jp/664.html>



募集情報

稗原やまびこ農園 利用者募集
～自然の中で野菜づくりを楽しんでみませんか？～

出雲市稗原町にある「稗原やまびこ農園」の4月からの利用者を募集しています。空き区画は5区画あり、1区画30㎡。シャワー、風呂、テレビ、布団、冷暖房などを備えた交流会館や、農具収納庫等も利用できます(使用料は別途)。

場 稗原やまびこ農園(出雲市稗原町581)

費 利用料 年額3,500円(1区画あたり)

問 Tel:0853-48-0912[管理者:高野 義徳(こうの よしのり)]
http://www.geocities.jp/izumo_yamabiko/

第3回まちづくり法人
国土交通大臣表彰
期～2/28(金)

都市の課題解決に取り組み、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させる先進的なまちづくり法人を表彰し、好事例として広く紹介することにより、各地のまちづくりに向けた取り組みが一層推進することを目指すものです。

対 自治体や他の法人等が推薦する先進的な取組を行う企業やNPO法人等

金 国土交通大臣賞等 表彰

問 国土交通省都市局まちづくり推進課 Tel:03-5253-8111
http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05_hh_000100.html

※アイコンの説明

日 日にち **時** 時間 **場** 場所 **定** 定員 **費** 費用 **主** 主催 **期** 期日 **金** 助成金額 **対** 対象 **問** 問合せ先

地域づくり団体交流会

開催

11月20～21日、松江・浜田にて、地域づくり活動を行っている団体又は人たちが一堂に会し、相互の連携を模索するためのきっかけづくり及び他団体から学ぶことによる自分磨きを目的として交流会を開催しました。

はじめに、講師としてお迎えした元中小機構・中部本部長の塩田康彦氏に「地域づくり団体がつながる意義について」と題し、地域団体のつながりのメリット・デメリットを講演していただき、コメンテーターとして、経営コンサルタントの藤田悠久雄氏も交え、予め作成した参加団体者(個人含)の自己紹介シートを元に各自活動内容をPRしていただきました。困っている事や改善点などを具体的に発表していただきながら互いの利点や今後の取り組み方など意見交換が盛んに行われました。

参加した方からは、「他団体の行動力が実際に聞いて良かった。」「価格設定や販路など具体的に色々聞いて参考になりました。」「知り合いが増え、巻き込みの機会として参加できて良かった。」という声をいただきました。



松江会場



浜田会場

小規模多機能自治を考える円卓会議 「総働で挑む地域づくり」

開催

11月末から12月上旬にかけて、松江・益田・江津の3会場で小規模多機能自治を考える円卓会議「総働で挑む地域づくり」を開催しました。はじめに、コメンテーターとしてお迎えしたIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表の川北秀人氏に、人口の減少や高齢化に伴い、町内会・自治会などの地縁型団体に求められる役割が従来の行事等の活動から安心・安全を高めるための福祉などを中心とした事業に変化していることや、多様な組織が連携し、地域の課題に取り組むため、地域内の組織を再編するという「小規模多機能自治」についてのお話をしていただきました。後半は、町内会・自治会、公民館、行政、NPO等、地域づくりに関わるさまざまな担い手の皆さんに事例発表をしていただき、その話題をもとに、参加者全員で地域が抱える課題や、解決方法など意見交換を行いました。参加した方からは、「地域で活動している様々な団体の活動概要を知ることができ、勉強になった。」「様々な年代や立場の違いを超えて、課題をフランクに語り合えてよかった。」「自分の自治会の課題を考え、解決に向け大いに話し合い、道を拓きたい。」という声をいただきました。



松江会場：グループセッションの様子

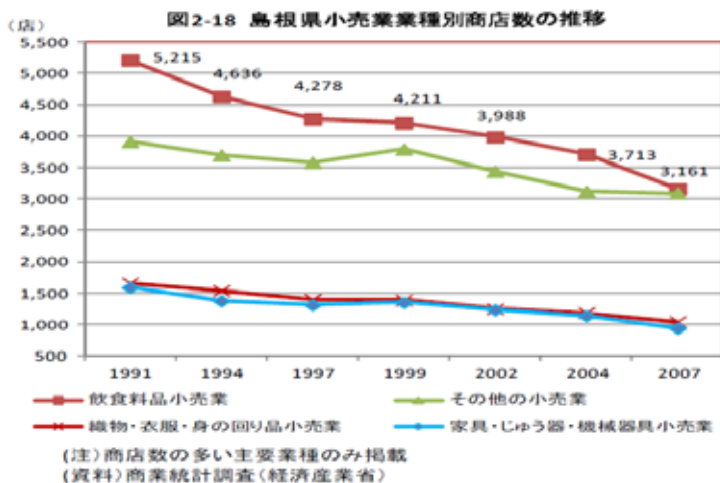
数字から見るしまねの課題

Vol.7

5万7千人

= 島根県における60歳以上の買物に困る人の数の推定

買い物弱者の増加と地域



参考資料：(社)中小企業診断協会島根支部 H23 発行「買い物弱者・生活弱者の実態と支援策の提言」
および H24.3「農山漁村に向けた買い物弱者支援マニュアル」

(社)中小企業診断協会島根支部 H23 年発行「買い物弱者・生活弱者の実態と支援策の提言」によると、現在島根県内の60歳以上の「買い物弱者」は5万7千人、と推計しています。

グラフで見ると、島根県においても小売業事業所数は年々減っています。特に中山間地域では、スーパーや商店の撤退や廃業に伴い、「買い物弱者」が増加していると考えられます。

今後も高齢化が進むにつれて、より「買い物弱者」は増加していき、地域の暮らしにくさにつながります。暮らしにくいことにより地域から人が流出、さらなる店舗や交通網の撤退や廃止へと余儀なく進みます。このように、このまま買物に不便な状況を放置してしまうと、より状況が悪化する可能性があります。

これを食い止め、自分たちの地域を住みやすくするためには、地域に住む住民自らが、この課題に主体的に取り組むことが重要となってきます。

島根で 頑張る人

地域を巻き込む「言葉」

人口減少や高齢化で財政の厳しさが増し、自治会等の地縁型団体に求められる役割が改めて問われているなか、雲南市は、全市を挙げて地域に「地域自治組織」を立ち上げるなど、全国的にも話題に上っている。その中でも先進地区として県内外から視察が訪れる波多地区。市のホームページには地区の取組が評価され、ある賞を受賞した際の写真が掲載されている(下記写真)。市長、協議会会長と並んで映る森山さんは、波多地区にとってキーパーソンの一人だ。地域課題に対し自ら動く波多地区の人々。住民が主体となって活動に取り組むことができるポイントはどこにあるのだろうか。

H20年、地域住民へのアンケート調査を実施し、2年に渡って各自治会を回り意見を



H23年度県民いきいき活動奨励賞受賞を速水市長へ報告した際の様子

聞いた。自治会を超えて話を聞くと、普段は言えない本音が出てきた。「波多には良いところがない」「若い人もいないし、ここはつまらん」、そんな声が多くあった。「つまらないと言っているけど仕方ない。まずは地区にいる者で何とかしないと。できることからやろうや」と言って回った。あがった課題のうち、最も意見が多かった「防災」に取り組むことを決め、避難時の体制を全自治会で整えた。またH22年に県有施設の公園が閉園することになった時、「地元の施設だから何とかして自分たちでやってみよう。やってみないことには何も始まらない」と住民が立ち上がった経緯がある。この言葉は、最初に森山さんが発したものだ。不安はあったが地域の人々と共に試行錯誤し運営までこぎつけた。以前はあまり訪れることのなかった地元の人々が集まる場所や、子どもたちの自然体験の場となり、県外からの来客も途絶えていない。

しかし、始めに目標を高く掲げすぎると「解決できない」と頭を抱えてしまうことがある。森山さんは、活動をスタートさせるとき、「できないことはやらない。できることからやる」という思いで取り組むという。そんな森山さんが発する言葉に、住民は共感したのだ。

波多地区に関わって10年、間違いなく地域は変わった。それは、「できることから、まずはやってみよう」と住民の背中を押した森山さんの言葉によって、無理をせず、目の前にある「できること」に取り組み、成功を積み重ねてきた結果なのだ。(Y)



波多コミュニティ協議会事務局 森山 緑 さん

S35年 掛合町波多生まれ。進学のため兵庫へ出た後、島根県へ戻り、結婚を機に斐川町へ移り住む。その後、波多地区へ戻り、保育所で嘱託職員として勤務し、H14年から当時の波多公民館(現在の波多交流センター)の職員として勤務。波多交流センターの主事として、また波多コミュニティ協議会の事務局として活動し現在に至る。

団体の今までの主な活動

雲南市が進める地域自主組織として、地域住民が中心となり、地域課題の解決のためさまざまな事業を展開する。地域住民へのアンケート調査の実施や、各自治会へ出かけた意見をもとにした 防災体制の整備、「さえずりの森」の運営、交通手段を持たない方への地域内交通システムの試行などを行う。

スタッフ後記

2014年、新しい年の幕があけました。天候にも恵まれた今年の元日は、初詣の参拝者も例年に比べ一層多かったのではないかと思います。出雲大社もまた平成の大遷宮に伴い、県外からも多くの参拝者が訪れ盛り上がりを見せています。この勢いの中、皆さまそれぞれ今年どのような目標を掲げられたでしょうか。県内の各地域にとって、充実した一年になりますように、私たち財団職員も、さまざまな事業を通してお手伝いしてまいりたいと思います。今年一年も、どうぞよろしくお願いいたします。(Y)

お知らせ 今後のセミナー予定

- NPOマネジメントセミナー
- 「支援につながる報告書のつくり方 夢を形にする計画書のつくり方」
- [第1回][浜田会場]2/5(水)[松江会場]2/7(金)
- [第2回][浜田会場]3/4(火)[松江会場]3/5(水)
- 寄付つき商品で無理なく社会貢献! 商品開発マーケティングセミナー
- 日時 2/6(木)14:00~16:30

[H25.12.31 現在]

県内NPO法人数…268
 (内 認定NPO法人数…4、仮認定NPO法人数…2)
 新設NPO法人数…0 (H25.12月分)
 しまね社会貢献基金登録団体数…56
 だんだん認証レベル取得団体数…36 (内 レベル2…24)

松江
事務局

〒690-0003
 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
 TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
 E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034
 浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
 石見産業支援センター「いわみぶらっと」内
 TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
 E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見
事務所